

◆事務所休館のお知らせ◆

8月5日(水) 午後:書記局会議のため、休館
8月12日(火) は午後5時までで閉館
8月13日(水)~8月15日(金) 夏季休暇につき終日閉館
ご了承下さい。

江東支部



墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合
江東ブロック会議
江東区北砂1-11-4
TEL [3640] 2411
発行者 実川英治
定価 30円
新聞代は組合費に含まれています

野音最後の予算要求決起大会

物価上昇を上回る賃金アップを!



プラカードアクションで賃上げを訴え



全国の代表団と国会議員

6月25日(水)全建総連は、物価高騰から仕事と暮らしを守り、賃金・単価の引き上げ、来年度予算要求のため、東京・日比谷公園大音楽堂で中央総決起大会を開催。48県連・組合から1877人、うち東京土建から839人、江東支部からは19人の仲間が参加しました。

午前9時30分より、東京都連は東京都庁第2庁舎にて「対都要求行動」をおこないました。建設労働者・職人の賃金、および労働環境の抜本的改善、地域建設業への支援そして建設国保の持続的な育成を求めて、2026年度東京都予算編成にあたり、東京都各局へ実現を強く要望しました。

江東支部からは関書記が保健医療局への交渉団に参加し、国保組合に対する都費補助の現行水準確保・拡充、育成強化を要望しました。基調報告のあと、団結カンパロウで午前の部は閉会しました。

午後5時以降は雨の降る中、今年の日比谷野外音楽堂に場所を移し、この場所では最後となる「予算要求中央決起大会」が行われ、鈴木委員長が主催者あいさつ、交渉団代表の決意あいさつに続き、来年度の国会議員のみならず、民主党・平沢勝栄衆議院議員、立憲民主党・枝野幸男衆議院議員、公明党塩田博昭参議院議員、国民民主党・舟山康江参議院議員、日本共産党・吉良よし子参議院議員、社会民主党・大橋ゆうこ参議院議員)を受け、各省要請を行いました。

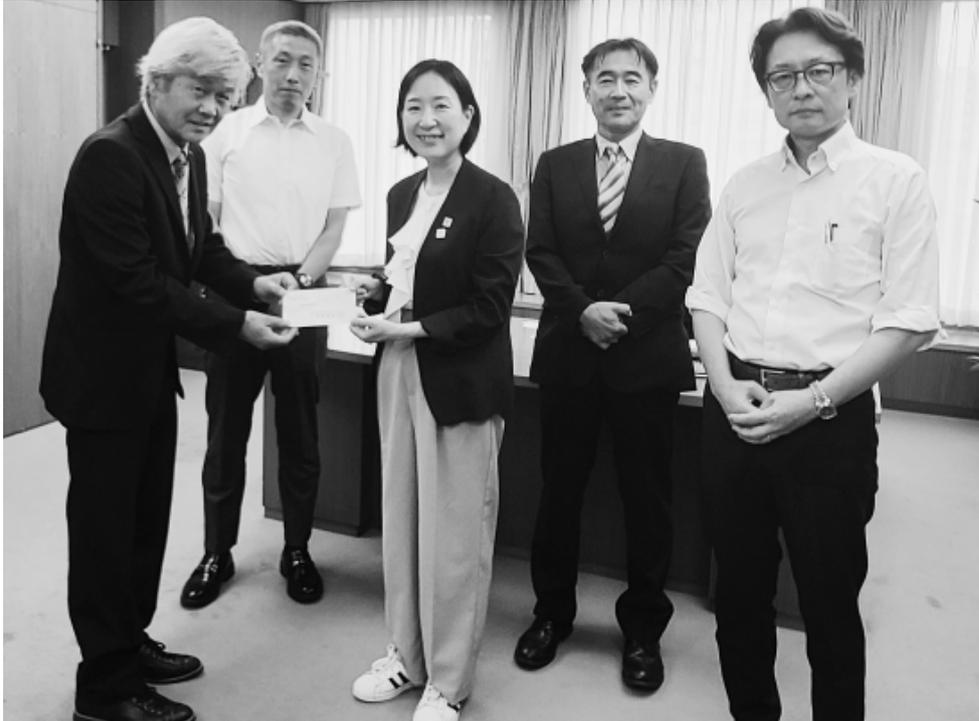
☆来年度予算、建設業の労働環境に関する要請(一部要約しています)

- 1、第三次担い手3法の改正を受け、働き方改革の推進、物価高騰を踏まえた適正水準の賃金支払い、下請け業者までの確実な法定福利費・安全経費の支払いのための施策を強化すること。
- 2、建設国保を育成強化する。国庫補助は現行水準を確保・拡充すること。
- 3、建設業の担い手確保・育成のための支援策を強化すること。CCUSの一層の普及・促進をはかること。
- 4、新設住宅着工戸数減少の影響を踏まえ、新築・リフォーム工事に関する補助事業の延長や拡充を行うこと。大工技能者の確保・育成に取り組み支援を拡充すること。
- 5、建設アセスメント被害の根絶と、被害を受けたすべての建設従事者を救済するため、基金制度の拡充を行うこと。
- 6、インボイス方式は、消費税非課税業者、小零細企業が、取引から除外されない仕組みとすること。負担軽減措置については、当面対象期間を延長すること。
- 7、国民負担の軽減を図るため、必要な措置を講じませんでした。

大会決議では、仲間の生活を守るためにも、物価上昇を上回る賃上げを求め、働き方改革の推進、CCUSの登録と活用を進め、建設国保予算概算要求確保、保険証機能の存続を勝ち取り、建設アセスメント被害の救済と根絶に向けて、全国の建設労働者、職人は全建総連に結集し、団結してたたかいぬこうと提起され、拍手で承認されました。台風2号の影響により雨に見舞われましたが、「建設国保育成・強化」「賃金・単価大幅引き上げ」と訴えるプラカードアクションの直前に、雨上がり、2026年度予算確保に向けた決意を固めました。最後に団結カンパロウで閉会しました。(熱中症対策としてデモ行進は開催しませんでした)

大久保区長を訪問・懇談

住宅デー募金93,969円を手渡し 建設業の話題で意見交換



大久保区長へ福祉募金を手渡し

7月14日(月) また、住宅デー当日の盛況だった各会場の様子などを、資料を交えて細かく説明し、来年の後援の依頼も要望して頂きました。

その他、江東支部の組織の現状や、現場の熱中症対策、点検法の危険性、木密地域の防災対策、特定技能外国人対応など、限られた時間でしたが、建設業に特化した話題で貴重な意見交換ができました。

最後に第48回住宅デー10会場でお預かりした募金93,969円を、富樫委員長から大久保区長に手渡しました。

